

TOTO

## 台所用シングルレバー混合栓

TKG39UP型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

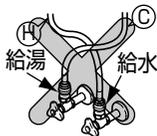
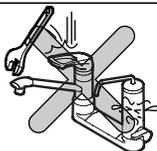
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

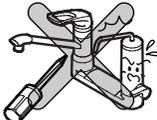
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意	
 禁止	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。 
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

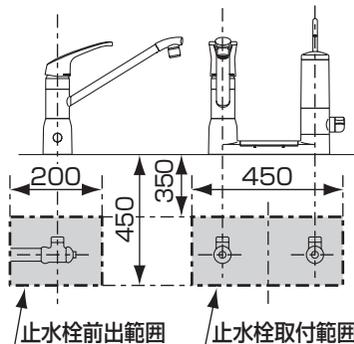
⚠ 注意	
 分解禁止	水栓本体内部を分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。 
 必ず実行	凍結が予想される場所には設置しないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

## 2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1~40℃
用途		一般住宅台所用

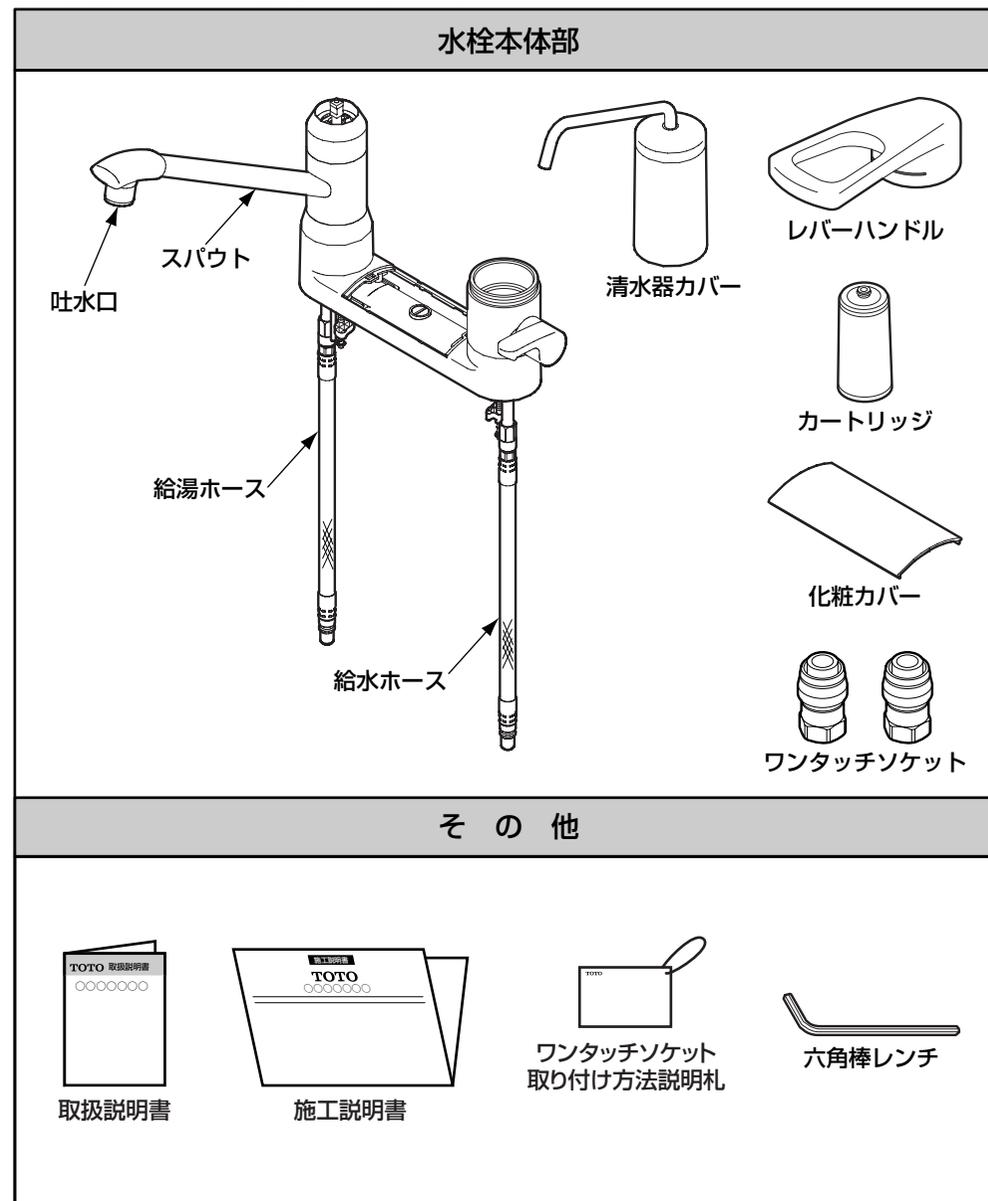
## 3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。



## 4 部品の確認

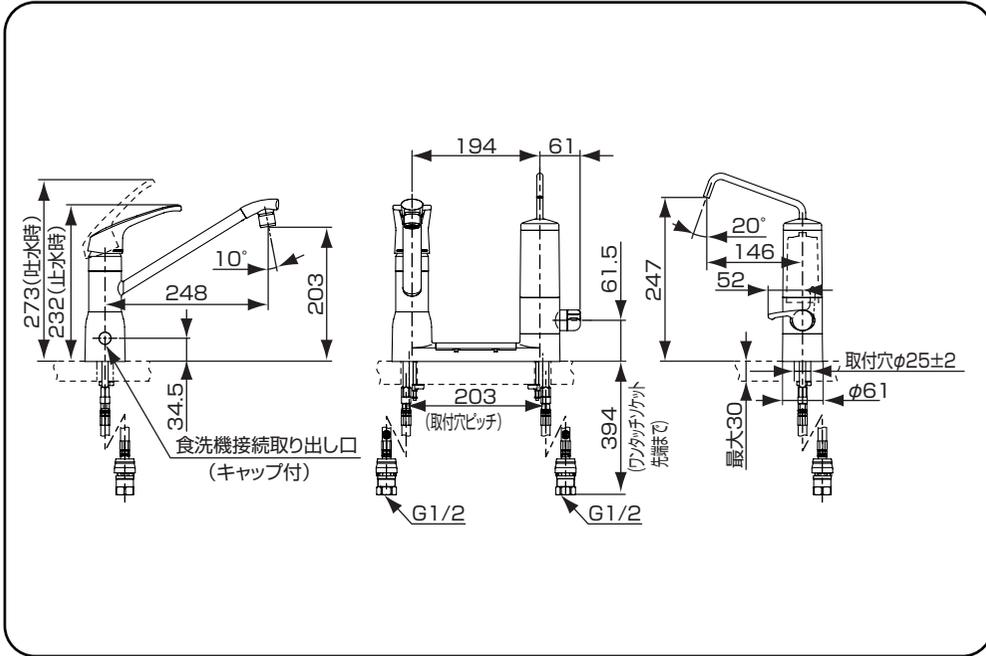
次の部品があることを確認してください。



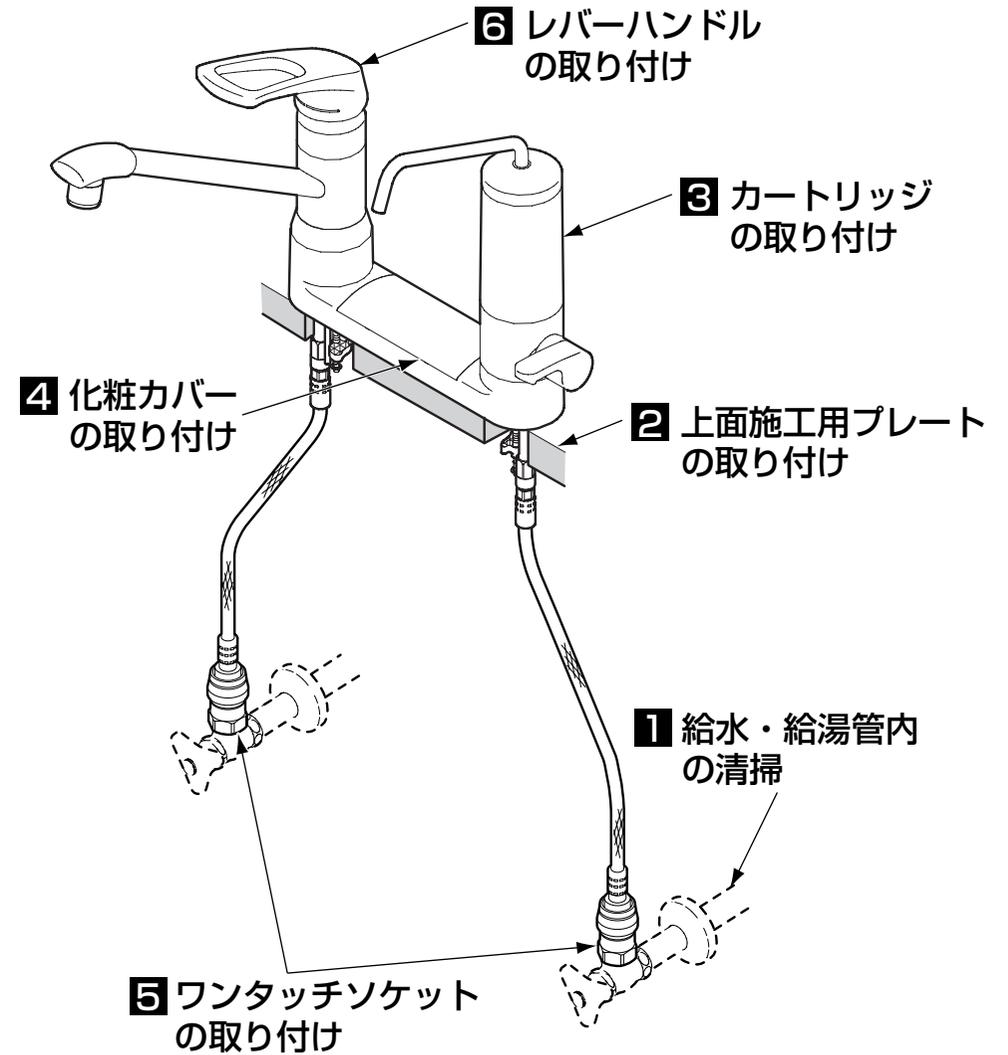
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



# 6-1 施工手順



## 1 給水・給湯管内の清掃

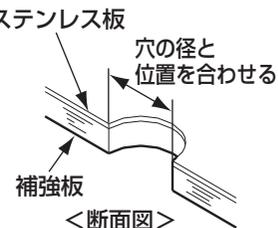
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

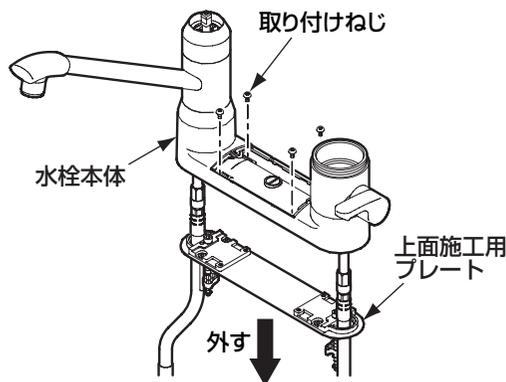
## 2-1 上面施工用プレートの取り付け

## 上面施工用プレート施工上の注意点

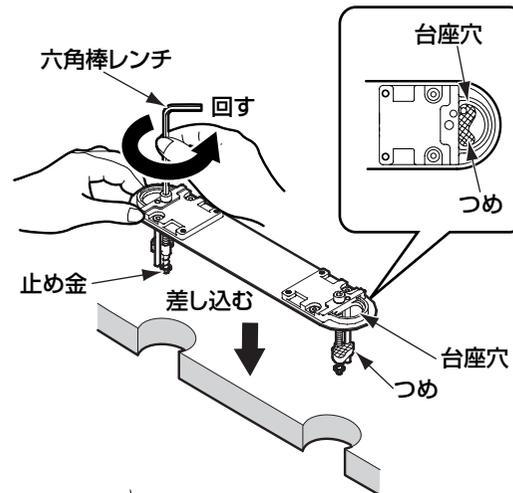
- 上面施工用プレートは、**正しく取り付け**てください。  
カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は **ステンレス板 固めの補強板 (合板など) を取り付け**てください。
- 補強板が **十分乾燥した状態で取り付け**てください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気を拭き取り **ドライヤーで乾かして**ください。
- 取り付け面に **養生シート** などがあれば取り除いてください。
- 取り付け可能なカウンター穴径は  $\phi 25 \pm 2$ 、ピッチは  $\phi 203 \pm 2$  です。
- 電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを **2~3.4N・mの範囲** に必ず設定してください。  
尚、クラッチ回転速度を **「低速」にしない**でください。  
トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。



- ① 水栓本体から、上面施工用プレートを外す。



- ② つめが止め金に当たるまで下ろし、台座穴から見える状態に広げる。

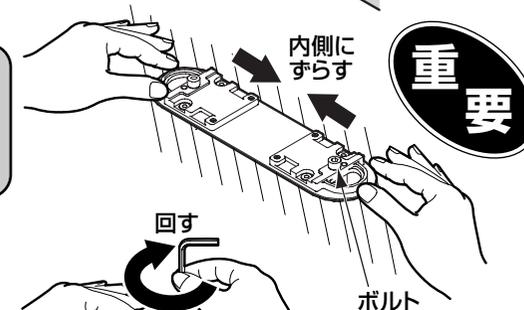


- ③ 上面施工用プレートをカウンターの穴に差し込む。

- ④ 左右のボルトが取付穴の**内側に当たるまで** ずらす。

## 注意

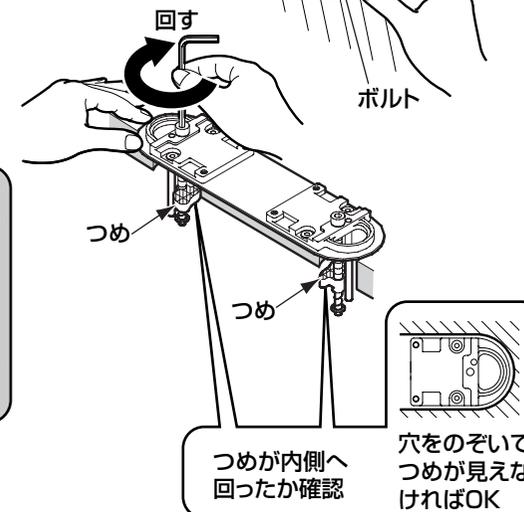
内側にずらさないとお水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



- ⑤ つめを内側へ回す。

## 注意

締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。



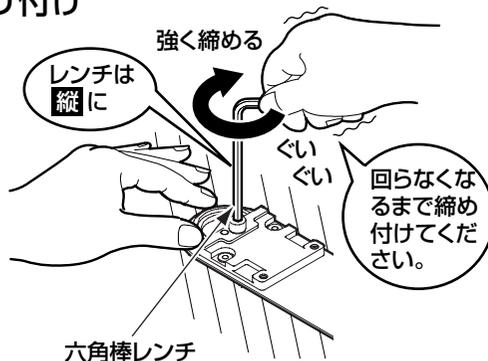
裏面へつづく

## 2-2 上面施工用プレートの取り付け

- ⑥ 上面施工用プレートの台座を内側にずらしたまま、六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。

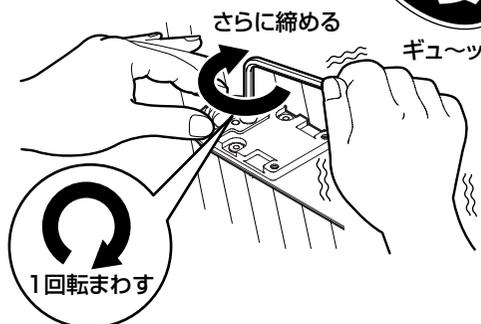
**注意**

プレートが斜めにならないように注意してください。

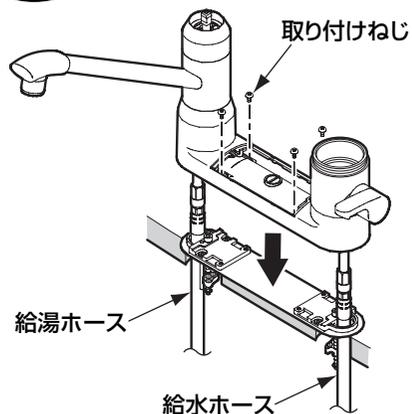


**重要**

- ⑦ さらに六角棒レンチを横にしてボルトを**1回転増締めして**上面施工用プレートを確実に固定する。

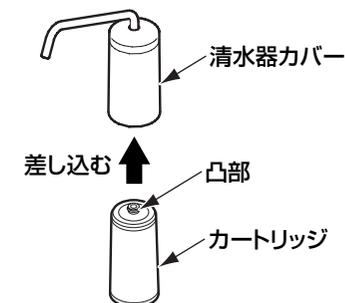


- ⑧ 水栓本体の給水・給湯ホースを上面施工用プレートに通す。
- ⑨ 水栓本体と上面施工用プレートを取り付けねじ(4本)で強く締め付ける。



## 3 カートリッジの取り付け

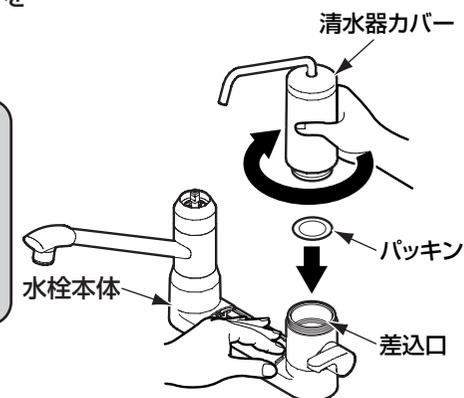
- ① カートリッジの凸部を上に向け、清水器カバーに差し込む。



- ② 水栓本体をしっかり持ち、清水器カバーを時計回りに回して締め付ける。

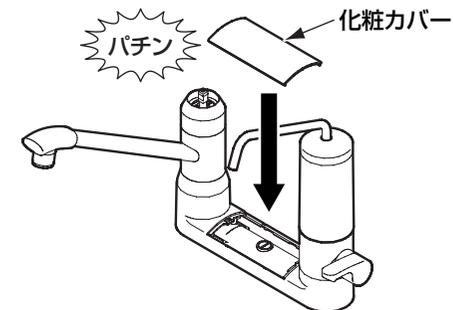
**注意**

- 水栓本体にパッキンが入っていることを確認してください。
- 工具は使用しないでください。
- カートリッジの密封包装は差し込み前に取り外してください。



## 4 化粧カバーの取り付け

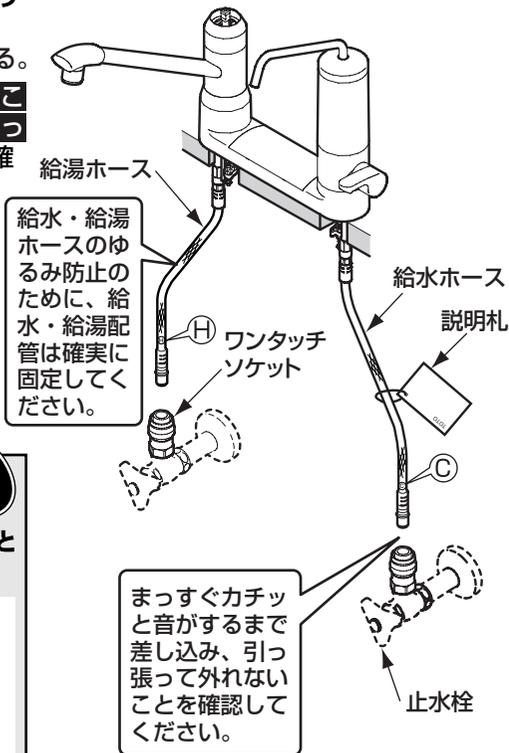
- 水栓本体に化粧カバーを**パチン**と音がするまで押し込んで取り付ける。



## 5 ワンタッチソケットの取り付け

- ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
- 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。

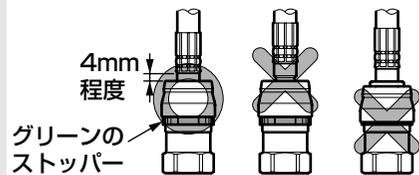
※この際、同梱の「ワンタッチソケット取り付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。



### 取り付け後の確認

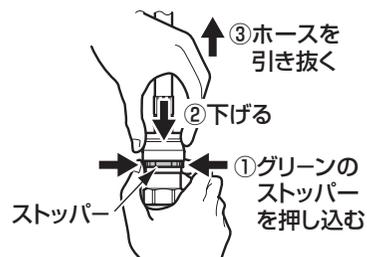
**重要**

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること



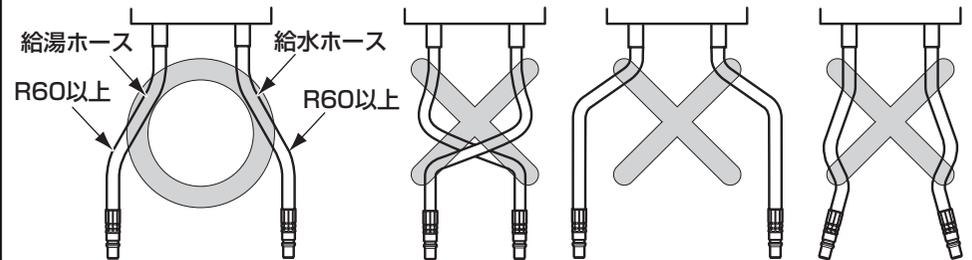
まっすぐカチッと音がするまで差し込み、引っ張って外れないことを確認してください。

### <ワンタッチソケットを取り外す場合>



## 給水・給湯ホース施工上の注意点

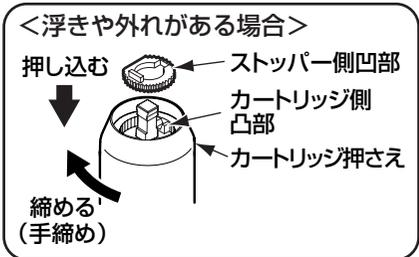
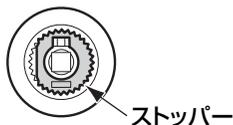
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



# 6-5

## 6 レバーハンドルの取り付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。  
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

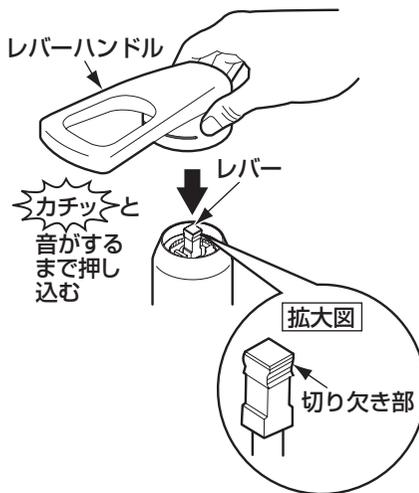


※カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを**締め込む方向**にて歯を合わせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。  
 ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

### 注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。  
 レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



# 7

## 使用上の注意

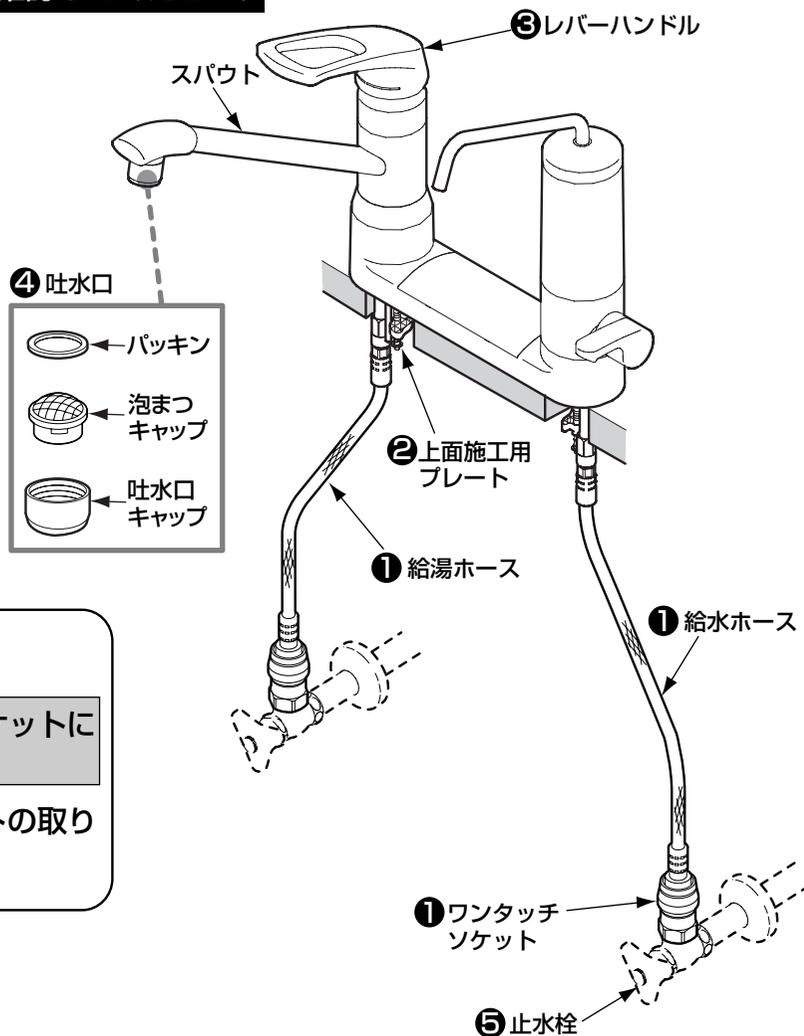
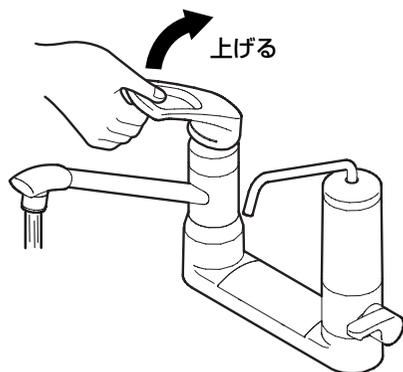
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

### 水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

➡ ⑥-④ - ⑤ 「ワンタッチソケットの取り付け」参照

### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 上面施工用プレートはしっかり固定されていますか？

➡ ⑥-② ⑥-③ - ② 「上面施工用プレートの取り付け」参照

③ レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

➡ ⑥-⑤ - ⑥ 「レバーハンドルの取り付け」参照

### 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。



⑤ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調整する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。